

# 2022年ジンギスカンオープンカーリング大会（A日程） 競技方法事前通知事項

## はじめに

この文書は、2022年4月23日にどうぎんカーリングスタジアムで開催される標記大会の競技に関する事項をまとめたもので、大会の開始に先立って出場する各チームに大会事務局を通じて配布されるものである。出場するチームはこの文書を事前によく読み、記載されている内容を十分に理解した上で臨むこと。

なお、特に必要があると認めるときは、大会期間中に追加通知(本部前に掲示)を行う場合がある。

新型コロナウイルス感染予防のため、公益社団法人日本カーリング協会から発行された「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大防止ガイドライン」(カーリング競技大会開催に向けた感染拡大防止ガイドライン)の取り組みに応じた行動をとること。

## 1. 競技規則について

今大会は、日本カーリング協会競技規則及び、大会特別ルールに基づき行います。競技は基本的にセルフジャッジとする。カーリング精神に則り、選手の協力をお願いします。

## 2. ラインナップカードの提出について

ラインナップカードの提出は不要です。プレー中の選手交代は、相手チームへ申告し、承諾を得てから行って下さい。

## 3. ストーンの割り当てと先攻・後攻について

### a. ラウンドロビン

#### (1) ストーンを選択

コイントスにより先練後練又はストーンの色を決定すること。

#### (2) 先攻後攻

試合前のラストストーンドロウ（LSD）で短いチームが先攻、後攻を選択する。

試合前にストーンを1投球する。時計・反時計どちらでも可。最低4人が投球すること。

### b. 優勝並びに3位決定戦

ラウンドロビンと同様とする。

## 4. 試合前練習について

試合前練習は行わない。但し、LSDを行う選手はボード側に向かって1投試投することが出来る。

## 5. 競技方法について

### ① 予選：5チームずつのラウンドロビンとする。

ブロック内順位は、勝ち点（勝ち3点、引き分け1点、負け0点）→直接対決の勝敗→LSDの合計値の小さい方の順に決定する。

### ② 優勝決定戦：

各ブロックの1位同士により優勝者を決定する。また2位同士による3位・4位、3位同士による5位・6位、4位同士による7位・8位を決定する。

### ③ 全ての試合**4エンド又は60分**（10分前コール）としエキストラエンドには入らない。

- ④ シートの幅はサイドボードの内側間とする。(W=5.0m)
- ⑤ 本大会はホッグラインセンサーを使用しない。また、ホッグライン審判は配置しない。

## 6. ユニホームについて

特に規定はしないが、ジーンズや短パンはドレスコードとして相応しくないので遠慮して下さい。

## 7. マナーについて

- a. 汚いシューズでリンクに入りアイスを汚さないで下さい。
- b. アイスを傷つけない配慮をし、アイス上で物を投げたり滑らさないで下さい。
- c. アイス上及びサイドボードにブラシやアンチスライダーなど、物を置かないで下さい。

## 8. 用具(ブラシの使用制限)

- a. チームが使用できるブラシヘッドは <http://www.worldcurling.org/brushes> からダウンロードできる“WCF Current Approved Product Codes”に記載されたものだけです。
- b. 選手は、審判長が特別に許可した場合をのぞき、試合中にブラシヘッドを換えることはできない(許可なく変えた場合はその試合は不戦敗となる)。

## 9. その他

- a. プログラムに記載されている試合時間は、あくまでも予定時間となっています。試合経過により変更となる場合や、不測の事態が起きた場合は試合が行われるシートの変更などスケジュールの見直しとなる場合もありますのでご了承願います。
- b. 計測等が必要な場合や選手同士で判断が出来ない事案が発生した場合は、競技役員又は審判員に大きくアピールをして下さい。
- c. 各エンド終了後、ハウスを任されている選手はスコアボードにできるだけ早く点数を掲示すること。  
チームは試合が終了した時点で、スコアカードに記載された各エンドの得点・合計点数等、記載事項に間違いがないか確認すること。
- d. 本大会では試合終了後のモップ掛けやハンドルの消毒を行うこと。
- e. 選手の控室は2Fとし、試合会場の入り口は2Fトイレ方向からとします。(Aシート側)

## 大会事務局メールアドレス

抗原検査等提出先

[sca@sapporo-curling.org](mailto:sca@sapporo-curling.org)